

 地域の絆づくり



子育てサロン・サークル



活動事例集

—新しいアイデアとユニークな取組—

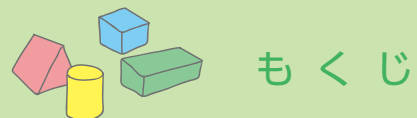


発行

社会福祉法人
京都市社会福祉協議会

平成 25 年 4 月





- 2 発行にあたって
- 3 魅力再発見！ 地域における子育ての居場所づくり
- 5 子育てサロン・サークルの運営に役立つあれこれ
- 7 新しいアイデア・ユニークな取組紹介
— ヒントはここから見つかる —

サロン編

- ① Good Time ^{フックタイム}（ネットワークによる運営）
- ② にんな子育てわくわくサロン（高齢者施設との連携）
- ③ かるがもカフェ（カフェ型サロンの運営）
- ④ ももっこクラブ（広報誌による関係づくり）
- ⑤ 三条会子育て広場（商店街と大学の連携）

サークル編

- ⑥ 双子っくらぶ（当事者同士の支えあい）
- ⑦ まんまるみなみん（働くママ・パパの居場所づくり）
- ⑧ Jafore ^{ジャフォー}（日本語を母語としない家族へのサポート）

協働編

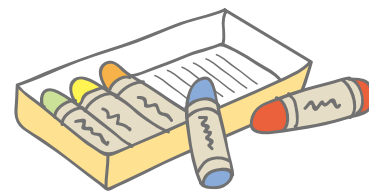
- ⑨ みるくくらぶ（参加者の自主活動を支える地域）

17 ここが知りたい Q&A

- ・講師によるプログラム・講座
- ・仲良くなるきっかけづくり
- ・子育てサロンの環境づくり

23 子育てサロン等運営アドバイザー派遣事業の紹介

25 子育てサロン・サークル実態調査 ダイジェスト版



地域の絆づくり 「支えあいの子育てサロン・ サークル活動事例集」の 発行にあたって



子育てサロン・サークル運営のいま

京都市社会福祉協議会では、「見守り活動」「居場所づくり」「相談事業」を三本柱とする「地域の絆づくり事業」を推進しています。特に、身近な地域における「居場所づくり」である子育てサロン・サークルは、子育ての孤立の解消や不安、負担感の軽減にとって欠かせないものとなっています。

昭和50年代の市内の設置数はわずか7カ所に過ぎなかった子育てサロン・サークルは、平成13年頃からその伸びが顕著となり、198カ所（平成23年度）となりました。

一方で子育てを取り巻く環境は、虐待件数の増加をみても近年厳しくなっています。地域で生活課題を抱え、孤立する子育て中の親へのサポートのひとつとして、親子が気軽に安心して集える居場所の充実と拡充が求められています。



運営アドバイザーによる事例収集をしました！

本会では、平成23年6月から「子育てサロン等運営アドバイザー派遣事業」を開始しました。子育てサロン・サークル等が継続して活発に推進されるよう、アドバイザーを派遣してプログラムや運営等に関する助言を行うとともに、先進的な取組に関する情報を集約して、幅広い周知を図ることを目的としています。

本冊子は運営スタッフの皆さま向けに、京都市内のサロン・サークルの運営の参考となる新しいアイデアやユニークな取組を集めて、活動事例集としてまとめたものです。

活動事例集は、平成17年の発行に続き2冊目となります。この間、子育て中の親子の居場所のあり方は多様化しています。同時に子育てサロン・サークルの課題も変化しています。これらの状況を踏まえてまとめた本冊子を、運営の充実や立ち上げにご活用いただければ幸いです。

最後に、本冊子の発行にあたり、取材や調査に快くご協力をいただいた各学区社会福祉協議会、民生児童委員協議会、子育てサロン・サークルの皆さまに厚くお礼申し上げます。また、編集にあたっては、NPO法人京都子育てネットワークのご協力をいただきました。重ねて厚くお礼申し上げます。

社会的孤立を防ぐ 地域の絆づくり事業





魅力再発見！ 地域における子育ての居場所づくり

子ども同士 + 親同士 + 地域スタッフ・ボランティア + 専門機関 = 広がる絆づくり！



子育てサロン・サークルに参加されている方の声を集めてみました。

平日の昼間は、
子どもと二人だけなので
家で過ごしていると
どうしても息が詰まって…

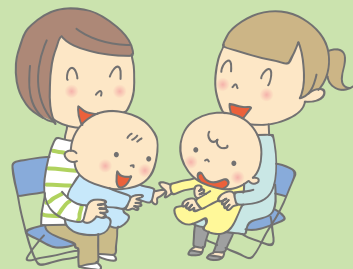
ここに来て
話していると
「自分だけじゃないんだ」
とほっとします

子育ての先輩から、
産後のしんどかったことや
アドバイスをもらって
安心しました。

地域のスタッフの方が
やさしく声をかけてくれる
のがうれしいです。

ママ友ができて
よかったです。
ありがとうございます。

子ども自身も、
同じくらいの歳の子どもたちと
過ごせました。刺激を受けて
興味を広げていたので、
また来ます。



子育ての居場所づくりの効果 — 地域の福祉力を高める —

1 仲間づくり

子ども同士、親同士、地域スタッフ・ボランティアがつながり、地域(近隣)で交流できる場。

2 ココロとカラダが元気に

歩いて出かけ、みんなと笑ったり歌ったり、楽しい時間を過ごすことで生活の質もアップ。

3 支えあいの輪

会話のなかから悩みを相談したり、助けあいを育む場。運営スタッフ・ボランティア、運営をサポートする社協職員や保健師などが個別のニーズに対応できる場。

4 情報の交換

子どもの医療・保育・教育の情報は欠かせないもの。情報を知ることができる拠点。

地域のなかの子育て支援の拠点

(1) 子育てサロンの魅力

その1 身近な地域のたまり場として

昔のように家に「縁側」がなくなってきたことで、気軽に家を訪問し合うことへの敷居が高くなり、また、家の近くで子ども同士が遊べる場が少なくなった今日、地域の子育てサロンは誰でも気軽に参加でき、親子で楽しめる大切な場所「たまり場」となっています。この「たまり場」は、子ども同士の遊びの場であり、親同士の子育ての情報交換、悩みの共有、ストレス解消の場となっています。

その2 地域のお世話役との出会い、地域デビューの安心感

特に地域の子育てサロンは、運営を担う地域のスタッフやボランティアの存在が欠かせません。いわゆる「地域のお世話役」がいてくれることで、サロン初心者(=地

域デビュー)でも安心してその時間を過ごせる、また参加者同士がほどこい人間関係を保つこともできます。

参加する親子にとって、このような地域の運営スタッフ・ボランティアとの出会いは、地域に住む一員として生活していることを実感する機会となっています。

その3 困ったとき、地域でつながり、支えあう

地域における人間関係が希薄化している今、このように地域でお互いを気にかけてあう居場所があれば親の孤立感や負担感が軽減されます。また、子育てのことだけに限らず、生活上の困りごとや心配ごとがあれば、地域のサポートの他、社協職員などが調整に入って専門職によるサービス援助につなぐことができます。

子どもには遊び仲間を、親には子育て仲間を！

(2) 子育てサークルの魅力

その1 出会いたい仲間に出会える！

子どもの仲間づくり、親の仲間づくり、やりたい活動の仲間づくり(フラダンス・ゴスペル・人形劇・趣味など)、さらには、高齢出産、シングル、若年のママ、子どもの障害・病気・アレルギー・多胎児・成長がゆっくりなど、同じ子育ての悩みを抱える親の仲間づくりなど、十人十色の子育てを受け入れあうサークルも当事者の力でたくさん生まれています。

その2 育ちあい、学びあい、支えあう子育てでパワーアップ

子育ては支援してもらうだけでなく、相互に支えあって分かち合うもの。子どもがいる今だからこそできることを楽しめる場です。自分たちのサークルの運営を考えたり、いろんな楽しい活動やおしゃべりを通して成長しあい、子育ての絆が深まってきます。

その3 子どもも育つ場

親同士の信頼関係ができていると、子ども同士の自己主張のぶつかり合いも安心して見守ることができます。いろんな価値観の大人に可愛がられて子どもも豊かに育ちます。

その4 実は…地域の人材育成の場

自分の子育てだけで精いっぱいだった親も、ほかの子どもたちの健康な成長を喜びあえるようになります。「私」から「私たち」、「我が子」から「私たちの子ども」、「家」から「地域」へと視野が広がり、子どもたちのためにできることを行動に移せる市民が増えています。こんな魅力が詰まったサークルが育つよう、地域で励まし見守っていきましょう。



子育てサロン・サークルの運営に役立つあれこれ

サロン・サークルは、成り立ちや運営形態がさまざまです。
市内のサロン・サークルの様子から、運営のあれこれをあげてみました。

1 開催場所

歩いていける距離で、継続して実施できる場所が理想的です。児童館、集会所・自治会館、小・中学校を利用している団体が多いです。

特に最近では、ハード面とソフト面が整っている児童館の利用が増えています。

また、人が集まりやすい商店街や近隣の高齢者施設でも開催されています。

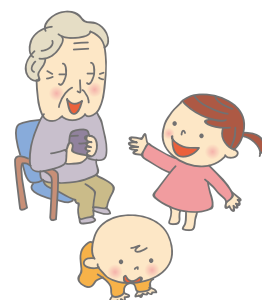
場所がなく困っている場合や、地域の施設を借りたい場合は、社協や子ども支援センターが協力します。



2 参加者

特に決まりはありません。子どもは保育所、幼稚園に入るまでの0歳～3歳の子どもを対象にしているところや、0～1歳のみ対象、妊婦さんが参加されている場所もあります。さらに最近では、地域の誰もが気軽に参加できるように多世代型といった取組も始まりつつあります。

当事者サークルのように、共通の課題、悩みを持つ親が安心して話せて、支えあう取組も広がっています。



3 募集手段

チラシの配布や掲示、自治会での回覧のほか、子ども支援センター、保育所、幼稚園、児童館を通じて周知してもらいます。回覧板が回らないマンション等に住む親子にも参加してほしいと家主や管理人にお願いしたり、近隣のスーパーや小児科にも広報をお願いしているところもあります。担い手のボランティアも同時に募集するのも工夫のひとつです。

参加者に協力してもらい親から親へ口コミで伝えてもらうのも効果大です。最近では携帯やスマートフォンを使用したお知らせも増えています。



4 活動内容

参加者と運営スタッフ・ボランティアがお互いに協力しながら、柔軟に運営することがポイントです。

親同士の交流・情報交換、親子遊び、季節行事が中心です。他にも、講座や勉強会、専門家による子育て相談もあります。最近では、親子ヨガ・ベビーマッサージなども人気です(詳しくはP.17「ここが知りたいQ&A」)。

「見守り」を基本としながら、上記のプログラムを組み合わせます。



5 開催頻度

参加者の都合や状況、運営体制によってさまざまです。

参加者の日常生活の一部となることが望ましいことから、サロンでは、おおむね月1回から週1回を目安に年間10回程度、定期的に開催されています。

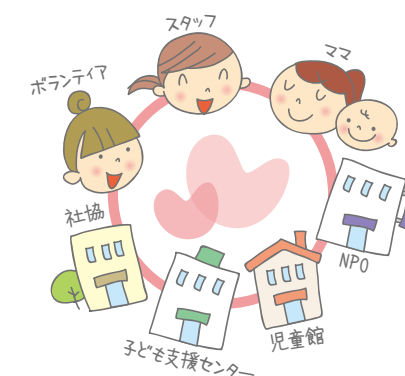
サークルでは、当事者同士で集まりやすいことから、開催頻度を増やし、お出かけ企画も行われています。



6 ネットワーク

運営する自分たちが頑張りすぎて、疲れてしまったり、何かの拍子でうまくいかなかったりすることもあります。

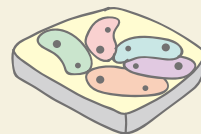
社協や子ども支援センターはもとより、児童館、保育所、ボランティア団体、NPOなどの支援もあり、何気ない話の中から悩み事を聞いた時、支えが必要な時、専門家につなぐことで、子育ての「孤立」を防ぎます。





ヒントはここから
見つかる

新しいアイデア ユニークな取組紹介



南区
吉祥院
学区

吉祥院
子育てサロン

グ ッ タ イ ム

「Good Time」

ネットワークをつくることで、多くの人に関わってほしい



サロン「誕生」のこだわり

「地域の子育ては地域で見守りたい!」という思いのなか、子育てのネットワークを結成し、サロンが始まりました。

「横の連携をつくって運営すると、サロンが魅力的になり、それが付加価値になります。」と吉祥院子育てネットワークの山下代表。

参加者からも、「専門家の話が聞ける」「幼稚園や保育園などの具体的な情報がわかる」「先輩ママや地域のボランティアの方に会える」との声があり、保護者のさまざまな思いに応えています。

それと同時に、サロンを拠点に、ネットワークの関係者同士の交流も深まりました。また、気がかりな親子や各施設の取り組みについて情報共有が進むようになりました。

地域の子ども・親と子育てを気にかける人たちが顔見知りとなって、つながりを育む地域づくりが進んでいます。



ちょっとひと工夫で、 親子にやさしい場所づくり



情報コーナー

地域の子育てに関する情報が満載。
みんなが集まる場所に情報を
集めて置くのがポイント。

授乳コーナー

サロンの隅っこに設置。
お母さんにとっては、
こんな心遣いがうれしい。



Outline サロンの概要

場 所：吉祥院小学校内 地域ふれあいサロン
日 時：毎月 第2水曜・第4月曜 10時～12時
主 催：吉祥院子育てネットワーク
学区社協 民生児童委員 自治連合会
女性会 保育所 保育園 小学校
児童館 自主サークル 昼間里親等
対 象：乳幼児とその保護者、妊婦さん
費 用：無料
開所日：平成23年10月

Interview

ここが聞きたい! 運営のよもやま話

スタッフの小柴さんにお聞きしました。
会場を小学校にしたことに、みなさんの想いがあつたとお聞きしています。
小学校は、いずれ子どもたちがお世話になるところなので、“ちょっとのぞける”感覚でお母さんが集いやすいのではと考えました。

これからの運営で大切にされたいことは?

参加される方の声とパワーです。
例えば、アンケートでサロンへの意見や要望をお聞きして、運営やプログラムに反映しています。これからは、チラシの作成や配布にも協力いただいたりして、参加される方のパワーが発揮できる居場所でありたいです。

この前の1周年記念では、あるお母さんが経験をいかして「歌のお姉さん」になってくださり、とても盛り上がりました。

上京区
仁和学区

「にんな子育てわくわくサロン」

高齢者施設で「子育て支援(サロン)」赤ちゃんの笑顔がみんなをつなぐ!



四世代がふれあう居場所

仁和学区では、高齢者施設を利用した子育てサロンを実施しています。

このサロンの魅力は何と言っても、赤ちゃんとお母さん、地域のボランティア、そしてデイサービス利用者の四世代の交流です。11時半頃になると、利用者の方もサロンに参加して、ふれあいの時間がはじまります。

お母さんは利用者の方に「どうぞ、抱っこしてください」と声をかけると、利用者の方から「赤ちゃんの顔を見てると元気になるわ」との声。部屋全体が笑顔で包まれます。

祖父母と離れて暮らしているお母さんからも、「一緒に遊んでもらえてうれしい」と、多世代交流ができるサロンの醍醐味を感じています。

サロンの最後には全員で唱歌を合唱。参加したみんなが一つになれる、そんなあたたかいサロンです。



お母さんの目線に立った取組



「幼児・子供服の交換会」

すぐに小さくなって着られなくなる子ども服。上手くりサイクル出来るよう、交換会の場を設定しています。

「子育てミニ講座」

専門の先生が毎回ボランティアで参加され、子育てのお話と、ちょっとした育児相談にのっていただけます。



Outline サロンの概要

場 所：京都市仁和老人デイサービスセンター
日 時：毎月第2月曜日・第4水曜日 10時～12時
主 催：仁和福祉団体連合会 子育て支援部会
対 象：乳幼児親子
費 用：無料
開所日：平成20年4月

Interview

ここが聞きたい!運営のよもやま話

地域の役員である河島会長にお聞きました。
高齢者施設を利用して、サロンを開催しようとされたきっかけは何ですか?

はじめは小学校をお借りしようと考えていたのですが、使用できるお部屋が3階でした。小さなお子さんを連れて3階は不便だろうと思い、他を探していたところ、今お借りしている施設から快く無料で貸していただけることになりました。そこで、せっかく同じ施設を利用している者同士、交流ができないかなと思い今の形が出来上がりました。

何か新しいことを計画されているとお聞きましたか?

口コミで参加者が増え、たくさんの方に来ていただいています。5年間ずっとこの施設でサロンを実施してきたので、たまには雰囲気を変えて、野外でやってみたい!と計画しています。

右京区
山ノ内
学区

「かるがもカフェ」

高齢者施設とのコラボレーション カフェ型サロンでほっこり



カフェ型サロンのこだわり

地域密着型サービスセンター「Welcomeやまの家」では、地域交流ができる拠点として、誰でも気軽に食事や喫茶を楽しめる、喫茶「café e-ばしょ」が併設されています。その奥にちょっとしたスペース(保育室)を借りて、学区社協のサロンが始まりました。「この場所でおいしいお茶や甘いスイーツを食べながら、ほっこりしてもらえたら…」そんな思いで立ち上がったカフェ型サロンです。

「赤ちゃんを連れて外にお茶をしに行くのが出来ないから、ここがあってありがたい!」と好評です。

サロンの雰囲気はとても和やかで、社協ボランティア・主任児童委員の方がお母さんの輪に入って、自分の産後まもない経験や地域の子育て情報を伝えています。



おいしいスイーツが交流の潤滑油に



スイーツメニュー

「Welcomeやまの家」スタッフの方による手づくりスイーツは、季節によってメニューが変わり、見るだけで楽しくなります。

保護者同士でメール交換

お母さん同士の初めての出会い。0歳児の「同期」ということで親近感が深まります。



Outline サロンの概要

場 所：地域密着型サービスセンター
「Welcomeやまの家」保育室
日 時：毎月 第3火曜日 10時30分～12時
主 催：山ノ内社会福祉協議会
対 象：0歳児の赤ちゃんと保護者
費 用：飲み物/スイーツ 各100円
開所日：平成24年5月
形 態：フリースペース型

Interview

ここが聞きたい!運営のよもやま話

ボランティア(主任児童委員)で企画担当の伊藤さんにお聞きました。

0歳児とその保護者がサロンの対象なのは?

児童館や保育園のサロンにも関わっていますが、0歳児を持つお母さんは育児に必死であることを強く感じていました。そこで、0歳児のお母さんたちがほっこりできる場所と、そこで相談も受けたいと思いました。

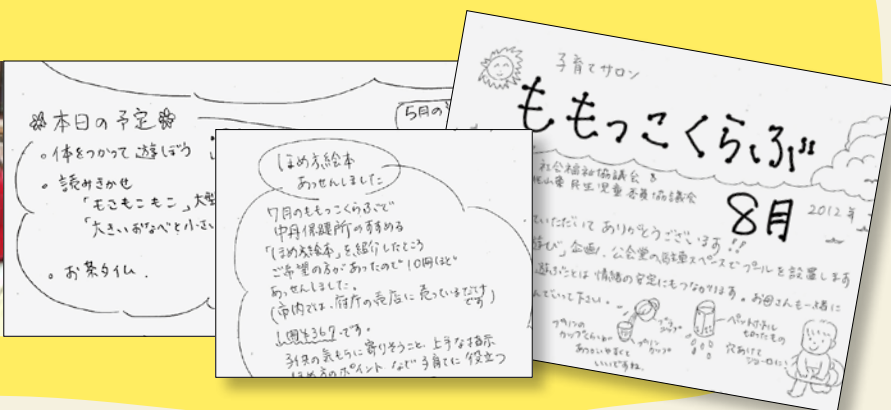
「Welcomeやまの家」所長の河本さんにお聞きました。

お母さんたちが「かるがもカフェ」に来られたことをきっかけに、常設のカフェや高齢者も参加するイベントにも参加いただけるようになりました。これから地域に貢献できる施設でありたいと思っています。

伏見区
桃山東
学区

「ももっこクラブ」

つながりを紡ぐ 運営スタッフの想い



親に寄り添う通信に 想いをのせて

23年度に開所したばかりの子育てサロンです。「子育て中の“つながり”はとても大切!その時に出来た“つながり”は子どもが大きくなっても続き、地域で支えあえる関係に…」そんな想いで活動しています。

何より大事なものは、参加されるお母さんの想いに寄り添うこと。そのためには、まずお母さんとスタッフとの距離を近くしたいと、いろんな工夫がなされています。

そのひとつが、「ももっこくらぶ」通信の存在。手書きのお便りには、運営スタッフ側から届けたいあたたかいメッセージや子育て情報が載せてあります。

また、子育てサロン専用のメールアドレスがあり、登録を呼びかけています。お母さんに次回の準備物などの連絡、ちょっとしたことで気軽に相談してもらえるために設けました。



ちなみに…

おもちゃも手づくり(^^)

「手づくりをするとホッとします。負担にならないように、わざわざ集まってつくるのではなく、サロンの開催日に、みんなでちょこちょこっと楽しんでつくっています。」



Outline サロンの概要

場 所：桃山東公会堂
日 時：毎月1回
(希望があれば2回開催。フリースペースとしても場所を提供)
主 催：桃山東民生児童委員協議会
桃山東社会福祉協議会
対 象：乳幼児親子
費 用：無料
開所日：平成23年5月

Interview

ここが聞きたい!運営のよもやま話

主任児童委員の浅井田さんにお聞きしました。
お母さん方の声を聞く工夫は？
普段から、お母さんとの会話を大事にしています。サロンの終わりには、お母さん方に自己紹介してもらったり、主任児童委員の紹介やサロンへの要望を聞く時間をとったりしています。参加される方が、「こんなことしたいなあ」と言える雰囲気を作りたいと思っています。

通信には、毎回どんなことを書いてますか？

本日のメニューや、「工作」「絵本紹介」「離乳食」「本日のテーマ」「地域の子育て情報」「次回の予定」など。

ちなみにですが、続けるコツは、気負いしないことが一番!気軽にサッと、あたたかい雰囲気が伝わるように、手書きで作成しています。

中京区

「三条会 子育て広場」

商店街の子育て支援 大学と連携した交流の場



キーワード 商店街・大学・ 学生・相談

アーケードのある「365日晴れの街」京都三条会商店街では、「買い物だけでなく、お買い物の途中や帰りに立ち寄ってもらい、少しほっこりしてほしい」と子育て世代のための子育て広場を開設しています。

子育て広場の会場は、商店街通りの一角にあり、買い物袋を提げた親子が集まってきます。特色は、子どもは保育士や幼稚園教諭を目指す学生と一緒に遊ぶことができ、親は保育専門の教員にいろいろと相談できることです。

お母さんからは、「身近な商店街でお母さん同士の交流ができうれしい」「学生さんに子どもの相手をしてもらえるのがいい」「先生に育児の相談にのってもらえるのはありがたい」という声が聞かれます。



商店街と大学のコラボで魅力アップ

子育てにやさしい三条会商店街
毎月19日は「きょうと育児の日」。リボスタンプがあり、子育て広場に参加するとゲットできます



発達段階を考えた
玩具を使用
(大学からの提供)

Outline サロンの概要

事業名：京都三条会商店街寺子屋事業(子育て広場)
場 所：三条会寺小屋
日 時：毎月2回 午後2時～4時45分
主 催：京都三条会商店街振興組合
京都光華女子大学短期大学部こども保育学科(平成24年度)
対 象：乳幼児と保護者
費 用：無料(出入り自由)
開所日：平成20年8月
形 態：自由あそび、その他(折紙、お絵かき、絵本読み、紙芝居など)

Interview

ここが聞きたい!運営のよもやま話

京都光華女子大の吉村先生にお聞きしました。
学生さんも参加されていますね。
親子の姿とやりとりをそばで見ることができるのは、将来の幼稚園・保育園の先生になる学生にとっては、貴重な学びの場となっています。
教員にとっても学生と子どもの関わりをそばで見ることができ、指導しやすい環境にあります。

京都三条会商店街の上田理事長にお聞きしました。
長年、子育て支援を続けられていますね。
若いお母さんに来ていただくことで、お店の人と顔見知りとなって、挨拶しあう仲になっています。子育て放棄や虐待などニュースで流れる昨今、近隣マンションに越して来られた新しい世代の方と商店街で人と人のつながりをつくっていきたいと思っています。

下京区

「双子っちくらぶ」

同じ悩みや不安を持つ仲間が集まり思いを共有



当事者同士による支えあい

当事者同士が集まり、情報交換や悩みや困りごとがあれば一緒に考えて支えあうサークルです。

「お風呂や授乳のときはどうしてる?」「多胎児家庭育児支援割引券があるの知ってる?」「幼稚園は同じクラスがいいかな?別のクラスの方がいい?」など、双子をもつ親だからこその悩みを共有し、子育てのヒントをもらっています。

サークルでは「そうそう!わかる~」「それって便利」という声がいっぱいで、ストレス発散の場にもなっています。

外出するだけでも大変な双子育児。双子っちくらぶは、お母さんがひとりぼっちにならないよう、ほんとに安心できる、そしてお互いに共感できる居場所です。

何気ない一言を、 つらく感じてしまうときも...

うわあ、
私やったら
絶対無理やわ

1人も2人も
一緒やん

子育ても
いっぺんに済むから
楽やね

へえ、どうやって
ミルク飲ませるのか
見とこう

興味の対象として見られたり、大変さが分かってもらえないと、悲しいことも。

そんな時、お願いしたいことは「毎日大変なんだね。大丈夫?」「いつでも話し聞くと」寄り添ってもらえること。受け止めてもらえる人がいるだけで本当に救われます。

Outline サークルの概要

場 所: ひと・まち交流館・児童館・梅小路公園等
日 時: 2ヵ月に1回(主に休日)
主 催: 双子っちくらぶ
対 象: 乳幼児や小学生以上の多胎ママとファミリー妊婦さん(パパ・おばあちゃんも歓迎)
費 用: 無料
形 態: 登録制
結成日: 平成18年1月

Interview ここが聞きたい!運営のよもやま話

スタッフの松本さんにお聞きました。

パパ会があると聞きましたか?

サークルを休日に設定し、パパと一緒に参加するなかで、パパ同士の集まりが生まれました。そこでは「双子ママには電動自転車が必要品やで!」などの情報交換や「今度のサークルはお茶コーナーをつくって、たまにはママにゆっくりしてもらおう」とパパ達からの企画もあり、パパ会からも「支えあい」が生まれています。

ほんとに安心できる空間づくりをされていますね。

たった3人で始めたサークルも7年が経ち、前回は50人が集まりました。毎回メンバーは、初めて来られた方に対して、あたたかく声をかけてくれます。「横のつながり」だけではなく、「縦のつながり」を意識するサポートが、ほんとにできる空間をつくっていると思います。

南区

働くママ☆パパの子育てサークル「まんまるみなみん」

仕事も育児も支えあう居場所づくり



働くママ・パパの居場所

現在、仕事をされているお母さん方が、子育ての仲間と出会ったり、集える場所や機会が少ないことから、立ち上げたサークル「まんまるみなみん」です。働きながら子育てをしている者同士、少しでもいっしょに過ごせる時間があって、「まんまる」な笑顔で「まんまる」な仲間の輪が広がること目指しています。

季節ごとの行事を取り入れたり、わらべ歌や絵本の読み語りをする中で、親子の交流をはかっています。また、子育て仲間と楽しくおしゃべりすることで、子育てのヒントを見つけたり、悩みを共有し、仕事の疲れをリフレッシュしています。

Outline サークルの概要

場 所: 久世いきいき市民活動センター
日 時: 月1~2回 日曜日
主 催: 京都南 この本大好き会
対 象: 南区在住の未就学児(0歳~3歳)とその保護者
費 用: 1組年間2000円(保険600円)(継続割引あり)
♪メール配信で活動のお知らせ
♪活動写真DVDのプレゼント
♪絵本のプレゼント 等

形 態: 登録制
結成日: 平成23年5月

Interview ここが聞きたい!運営のよもやま話

代表であり教員をされている中村さんにお聞きました。

仕事を続けながらの苦労はありませんか?

私自身がリフレッシュできる場がサークルです。他区から引っ越してきた私も子どもを通じてお友達ができ、住みやすく感じるようになりました。また、地域で活動されている先輩ママにも支えていただく中で、地域の役割に気がついたり、感謝するようになりました。

サークルを盛り上げるために何か工夫をされていますか?

年に1回絵本作家さんを講師に招いたイベントを企画しています。イベントをきっかけにサークルに興味を持ってくれる人が増えました。

アイデアいっぱい活動内容



ちびっこたちが
サンタに変身!
すてきなクリスマス
カードができました。

お正月にちなんだ、
おなまのカルタを
つくって遊びました。

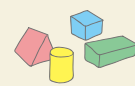


活動を通してどんどん仲間が増え、みなさんにニコニコ帰ってもらうのが一番うれしいです。

左京区

多言語子育てひろば「Jafore」(ジャフォール)

日本語を母語としない家族のための支援チーム



京都に暮らす日本語を母語としない家族をサポート

日本語を母語としない家族にとって、言葉の壁や、文化や習慣も違うなかでの出産や子育ては想像以上にたいへんです。

日常生活や子育ての不安を少しでも解消して、地域のなかで安心して暮らせる環境をつくりたいとの思いのもとジャフォールは発足しました。

「ひろば」は、国籍を問わず参加OK。大学の関係で海外から京都に来られた子育て家族も多いので、フリートークでは、英語、中国語、インドネシア語…さまざまな言葉が飛び交います。

初めての参加で戸惑わないように、外国語が話せるスタッフがさりげなくサポートをして、参加者同士のつながりを紡いでいます。また、地域とつながり、新しい価値観に触れるだけでなく、参加者が「ひろば」で活躍できるよう、自分の国の絵本の読み聞かせなどをいただいています。



多言語による子育て情報が充実



京都市内で子育ての困りごと、分からないことに対応する冊子「ちいさな子どもがいる家族のための日本語・英会話ガイドブック」の発行(左)と「多言語子育て情報サイト」(下)を運営しています。



情報はとても大事だと思っています。必要としている人へ必要な情報が行き渡るよう、さらに充実させようと思っています。

Outline サークルの概要

場 所：京都子育て支援活動いきいきセンター
つどいの広場 ほっこり♥はあと出町
日 時：毎月 第2月曜日10時30分～11時30分
主 催：Jafore(多文化や言葉に興味があるスタッフ)
対 象：子育て中の親子
(国籍を問わず誰でも参加可)
形 態：プログラム型
結成日：平成22年5月
ホームページ：あり(「ジャフォール」で検索)

Interview

ここが聞きたい!運営のよもやま話

代表の西さんにお聞きしました。

どのような相談が多いですか。

子どもの医療のことや幼稚園のことでの相談があります。そんなときは、一緒に現地まで付き添うこともあります。

地域で友達がなくて寂しいという声もあり、「ひろば」が孤立感や不安感を解消する場になっています。

これから、どのような取組をお考えですか。

参加者同士が横のつながりを持ったり、学生の方や地域の方にどんどん呼び掛けて交流が進めばいいなと思っています。



西京区・
川岡東
学区

「みるくらぶ」

子育てサークルを地域が応援!



地域の支えあいから生まれた子育て支援

参加者の親による「企画・準備・運営」を、地域の主任児童委員・民生児童委員や先輩ママがサポートする「サークルとサロンのミックス型」の居場所づくりです。

みるくらぶは、結成から10年が経ちました。発足当時、場所の問題で困っていた一人のママの声を受けとめ、「できることから始めましょう」と見守ってくれた地域の方に支えられて、今に至っています。

参加者(お母さんと子ども)は1年～2年で入れ替わります。そのつど、参加者同士が話し合い、役員や当番(2～3人)を決めて運営しています。

10年間、みんなで協力して、みんなで準備・運営することで成長する場であり、地域で誰も孤立しない支えあいの場となっています。



運営の秘訣 みんなの約束事

- ・当番を決める(工作の準備、おやつの購入、当日の司会・進行、ゴミ始末など)。
- ・地域との連絡係を一人決める。
- ・当番ママが手が離せないとき、まわりのママが子どもに目を配る。

これまでのプログラムをちょっと拝見

お母さんの企画

フリーマーケット
リトミックダンス
ひなまつり工作
お楽しみ会

地域からの企画

交通安全教室
相談会
敬老企画
救命救急法

Outline 概要

場 所：川岡東学区自治会館ほか
日 時：毎月 第2・第4火曜日
午前10時～12時
共 催：みるくらぶ
川岡東学区民生児童委員協議会
川岡東学区社会福祉協議会
対 象：0歳～3歳までの乳幼児親子
参加費：150円
結成日：平成14年10月

Interview

ここが聞きたい!運営のよもやま話

本日当番のお母さんに感想を聞きました

地域に見守られながら、10年続いていますね。

「長く続けられる秘訣は、毎年みんなで役割を決めて、協力しながら進めていることだと思います。」「うちの子はやんちゃで心配でしたが、ここでは地域の方が『大丈夫よ』とあたたかく見守ってくださり安心しました」

長く関わっておられる、主任児童委員の石若さんと乙藤さんにお聞きしました。

お母さん同士で取り組んでいただくことが何よりも大切だと思っています。

私たちの企画は、少々凝り固まったアイデアになりがちですが、お母さんたちは、いろいろ工夫して頑張られています。

私たちは、日頃からつながりがある保健所、児童館、警察、消防署との調整や、地域への案内回覧などの協力を続けています。



いつものサロンにちょっぴリエッセンス！ サロン・サークルがもっと楽 講師によるプログラム・講座

子育て学習会を
したいけど、どう
すればいいのかな？

年に1度くらいは、
イベントを
したいなあ！

長くサロンを
続けてきたけれど、
ちょっぴりマンネリ化
してるのかなあ？

サロンにやりがい
を感じているけれど、
もう少し参加者が
増えたらうれしいなあ…。

サロンやサークルを運営していて、こんな思いを感じられたことはありませんか？
「お母さん方は何に興味があるかわからない」、「自分達だけでは出来ない」、「予算が
少ない中で何かアイデアはないかしら？」そんな悩みを京都市社会福祉協議会が運営
する児童館の職員に聞いてみました。



保健師による子育て講座

しつけ、トイレトレーニング、急病のときの対
応などなど、子育てについての疑問に答えてい
ただけます。個別相談もしてもらえます。

▶ お母さんは、専門家の話を真剣に聞いています。
事前に聞きたいテーマや内容についてアンケート
をとっておくとスムーズです。

栄養士による 子育て講座

「偏食にならないようにどうすればいいの?」「食
事の与え方は?」「年齢に応じた食習慣って?」な
ど、お母さんの関心の高いテーマについてお話
していただけます。

▶ 「ちょっと身体が小さいかな」「食べさせすぎか
な」と食に関して悩んでおられるお母さんは多いで
す。そんな時期に話を聞いてホッと安心して帰
られます。

PTAコーラス

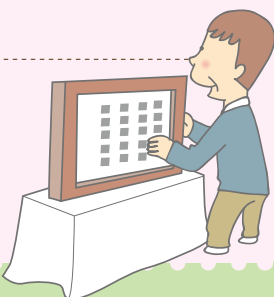
お住まいの学区にPTAコーラスはありません
か？ 学校や代表の方に相談してサロンに来て
もらい、乳幼児向けの童謡やお母さんの知って
いる曲など歌ってもらうこともできます。

▶ PTAコーラスの方も発表の場が持ててうれしい
とのこと。また、地域のつながり、支えあいが生ま
れます。

絵本の読み聞かせ

絵本や紙芝居、パネルシアターの読み聞かせだ
けでなく、手遊びやわらべうたなどのふれあい
遊び、絵本の選び方や乳幼児の遊び道具の紹介
もしていただけます。

▶ お母さん同士、絵本の
話をきっかけに子育ての
話が盛り上がります。



しくなる！

親子で取り組む エアロビクス・ヨガ・3B体操

音楽に合わせて、身体を動かして親子のスキン
シップとリフレッシュができます！



▶ 「運動不足が解消で
きた」「ストレス発散が
出来てスッとした」と
笑顔と笑い声がっぱ
いになります。

乳幼児の親向け救急法指導

あってはならないことだけど、もし、何か起こ
たら…。パニックにならないためにも、乳幼児
の救急法を知っておきませんか？

▶ 乳幼児の立場に立って、上手くあや
しながら進めていただけます。



▶ どの年齢もとても楽し
そうに、身体を動かして遊
んでいます。繰り返し行っ
ていくと、子どもの成長が見
られますよ。

スクラップ ブッキングをしよう

家族や子どもの写真をかわいく保存する「スク
ラップブッキング」の方法を教わります。



▶ 「不器用だけど可愛く出来ました」「記念になっ
てうれしいです」
小さな子ども達の手形や、なぐり書きも一緒にス
クラップ。とても良い思い出になると好評です。

親子でリトミック

ピアノやタンバリン、鈴に合わせて身体を動か
します。子ども達は音のイメージをふくらまし
て、とても楽しそうです。

ベビーマッサージ

オイルを一滴。お母さんの手で温まったら、足
からおなか、肩へと順番にマッサージ。赤ちゃん
の目を見て、話しかけたり、歌ったりしなが
ら楽しく行います。

▶ 赤ちゃんは気持ちよさそ
うにウトウト寝てしまうことも。
家でもやってみますという声
がたくさん上がっています。



前髪カット法

ママでも自宅で簡単にでき
る、前髪カットの仕方を教
えていただけます。当日、
実演カットもあります。



▶ 緊張したり、嫌がったり、泣いてしまったり…
子どものその日の様子で折り合いがつかないこと
もありますが、講師の先生がフォローしながら丁
寧に教えてくださいます。

講師の費用や交通費については、それぞれです。
問い合わせや詳細については「子育てサロン等運営アドバイザー派遣事業担当」までご相談ください。

仲良くなるきっかけづくり

どうしたら参加者同士がより親しくなるの？

1 楽しく自己紹介

- ①子どもの名前
- ②お母さんの名前
- ③子どもの生年月日
- ④ひとことPR

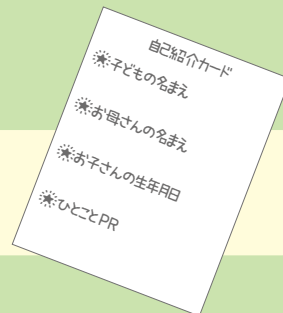


ちょっと
アレンジ

音楽を流してボールをまわします。音楽が止まった時に、ボールを持っていた人が自己紹介します。



子どもは自分の名前が言いたくて、ボールがくるのを楽しみにしています。



2 動きのある自己紹介

音楽にあわせて歩きながら、曲が止まったところで近くにいた人と自己紹介する。



ゲームの中で、お話しする相手が見つかるので、声をかけやすいです。

ちょっと
アレンジ

自己紹介カードを作成する



それぞれ5枚程度記入してもらい音楽が止まったところでカードを交換して自己紹介する。カードがあることで、話しかけやすくなります。

シール交換カードを作成する



自己紹介が出来なくて、ちょっぴり退屈な子ども達も、友だちとシールを交換できるのがうれしいです。



3 グループトーク

こんなテーマはどうですか？

- ①子どもの好きな食べ物
- ②子どものお気に入りのおもちゃ
- ③ご近所のおすすめ情報
- ④昨日の晩ごはん
- ⑤子育てで悩んでいることなど



ちょっと
アレンジ

サイコロトーク

- ▶サイコロ6面それぞれに、話しやすいテーマを書いておく。
- ▶グループ分け(5～8人くらい)をする。
- ▶進行役にスタッフが入る。
- ▶サイコロを順番に転がして、出た目のテーマにそって話していく。
- ▶グループの人は、話された内容で共感したことや、感想を言う。
- ▶全員の保護者に話してもらえるようにする。



こんな工夫

輪の中におもちゃを出しておく



子どもたちが輪の中で遊べて、目配りもできるようにする。おもちゃは音の出ないものを用意します。

3つのお約束

- ①話す人の方を見て、相づちを打ちながら聞く
- ②人の話を否定しない
- ③その日に出た話を会場から持ち出さない

子育てサロンの環境 づくり

モデルイメージです。全てそろわないといけないものではありません。ちょっとしたヒントです。

ダンボール

この裏でマジックテープで止める

絵本のたな

購入すれば高いですがダンボールでもつくることができます。(折りたたむこともできます)

おもちゃ

何でもお口に入れる赤ちゃん、よだれで汚れた時は、

- ①その日のおもちゃはその子だけの使用にする。
- ②水洗いをする。
- ③(②ができない遊具は) 熱湯でしぼったきれいな布でふいて乾燥させる。清潔を心がけます。

受付

名札

- ①名札購入(メンバーが定着していて、予算があるとき)
 - ②名前シール(車やお花のマークがついているシールで、1回限りの使用)
 - ③布テープ(①や②が用意できない時に代用できます)
 - ④手づくり(フェルトやアイロンシール、安全ピンを使用。あったかい雰囲気伝わります)
- ※お母さんにも名札を用意します。

乳児コーナー

お布団、タオルケットなどで寝かせてあげられるスペースを確保。
赤ちゃんの月齢が近いのでお母さん同士、情報交換がしやすくなります。

おむつ交換／授乳場所

棚やつい立てを置いて空間づくりをします。「授乳場所」の表示をします。

マット

100cm×100cmが基本の大きさ。部屋の広さに応じてつなげます。畳タイプのもの、色や種類もいろいろあります。

カフェコーナー

サロンの雰囲気を和やかに！
ちょっとほっこり、リラックスすると話もはずみ、距離感が縮まります。

掲示する
注意書きの例

- ①お子さんが、火傷をしないようにご注意ください。
- ②おかわりは1杯までです。
- ③ゴミはゴミ箱へ捨ててください。
- ④使用済みカップ・スプーンは所定の場所へ置いてください。
- ⑤ふきんはご自由にお使いください。



子育てサロン等運営アドバイザー派遣事業の紹介

アドバイザーが市内のサロン・サークルに派遣され、活躍中です！



京都市社会福祉協議会は、NPO 法人京都子育てネットワークと協力しながら、アドバイザーを派遣しています。
平成24年度は、計76回派遣をして、運営やプログラムの提案・助言をさせていただきました。
その一部を紹介します。

サロン編

参加するお母さんも一緒に運営の方法やプログラム内容について学んでもらいました。

学区のサロンをリニューアルしたい。
参加するお母さんも運営にかかわってほしい。

▼アドバイザー派遣

運営スタッフ・ボランティア・お母さんで「仲間づくりのためのファシリテーション実践ハンドブック」を使用して学習会を行いました。

高齢者との交流会に向けてお母さんにもプログラムを考えてもらい当日は好評でした。



交流会編

運営スタッフ同士のつながりや活動の促進を図りました。

サロン・サークル運営スタッフの交流会を開催したい。日頃の困りごとなどを共有して、これからの活動を考える集まりをしたい。

▼アドバイザー派遣(講師)

アドバイザーがコーディネーター役となり、運営に関する情報提供と子育てサロン・サークルへの想いを共有しました。



子育てサロン交流会の様子

サークル編

サークルのメンバーとこれまでのことを一緒に振り返り、楽しく活動するために必要な規約をつくり上げました。

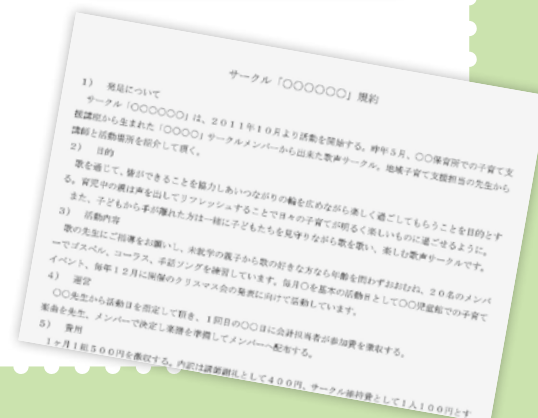
サークルメンバーの世代交代をスムーズにするために必要な基盤をつくりたい。参加者が安全に楽しく過ごせるようにしたい。

▼アドバイザー派遣

何を大切にするサークルでありたいのか、どんなことが楽しかったか、今まで困ったことは何か、ルールとして必要なことは何かなどをメンバーと整理し、規約をつくりたり、適切な保険を紹介したりしました。

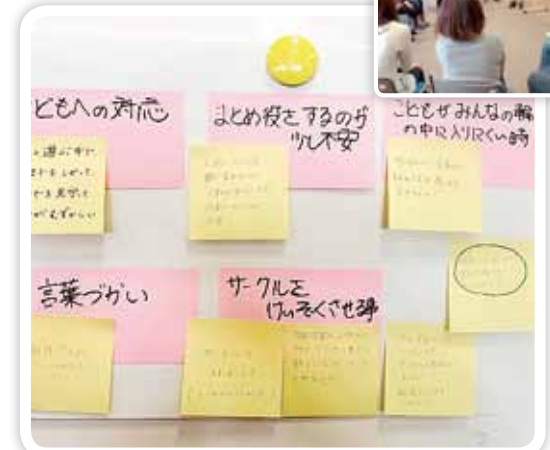
メンバーの声

次の世代のメンバーと共に、サークルの良さを感じることができました。これからも末長く、地域でつながってもらうために、私たちの経験がいればうれしいです。



参加者の声

- ・実際にレクリエーションの体験をして、楽しく、参考になりました。サロンで実行したいと思いました。
- ・地域社会とのつながりのお話は大事でした。
- ・他のサークルの方とつながることができて、日頃の悩みを話せる機会をつくっていただき、ありがとうございました。
- ・いろいろ運営に困っていましたが、グループで話し合いができて、ヒントをいただき、少し楽になりました。



グループワークで日頃の思いを出し合い、気づきをたくさん共有できました。

子育てサロン・サークルの実態調査から見えてくること

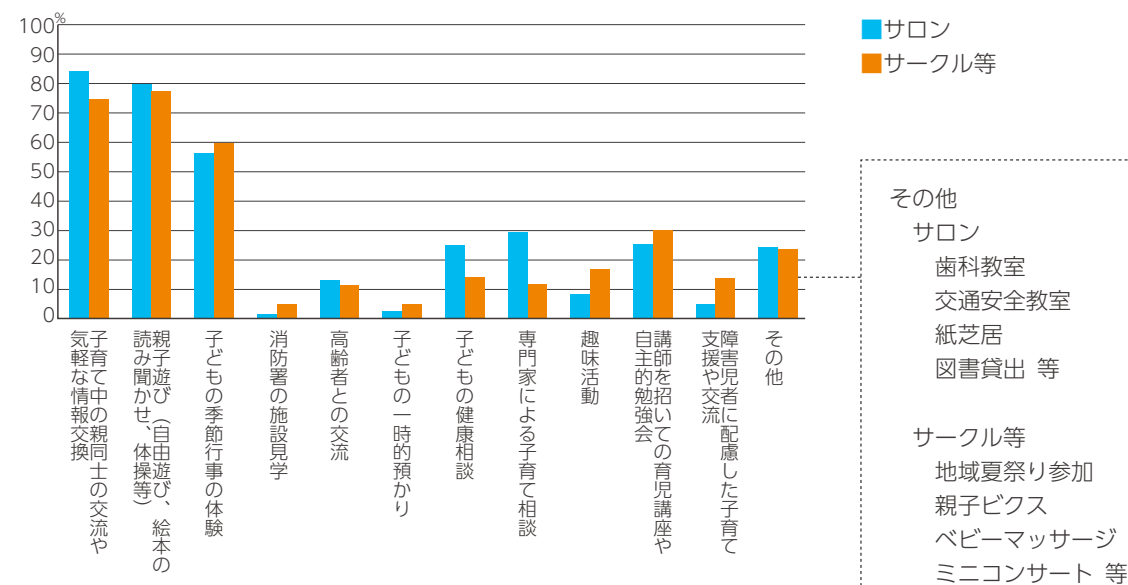
主な活動

参加者同士の交流や気軽な情報交換が中心です。

サロン・サークル等でよく行われる活動

- 1位「子育て中の親同士の交流や気軽な情報交換」(80.3%)
- 2位「親子遊び(自由遊び、絵本の読み聞かせ、体操等)」(79.6%)
- 3位「子どもの季節行事の体験」(57.8%)

主な活動(複数回答)



多くのサロン・サークル等では、参加者同士の交流や気軽な情報交換、親子遊びや季節行事の体験が行われています。

サロンとサークルを比較すると、サロンは「専門家による子育て相談」と「子どもの健康相談」が高くなっています。サークル等は「障害児者に配慮した子育て支援や交流」と「趣味活動」が高くなっています。

活動上で困っていること

サロン・サークルともに「担い手の確保」が課題です。

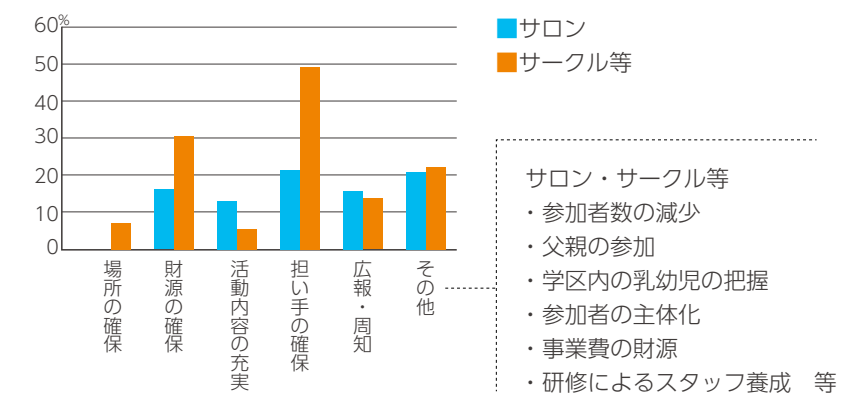
サロン・サークル等で困っていること

- 1位「担い手の確保」(33.1%)
- 2位「財源の確保」(21.8%)
- 3位「周知・広報」(14.8%)

参考(平成16年度調査)

- 1位 財源の確保(38.6%)
- 2位 担い手の確保(24.4%)
- 3位 場所の確保(15.7%)

困りごと(複数回答)



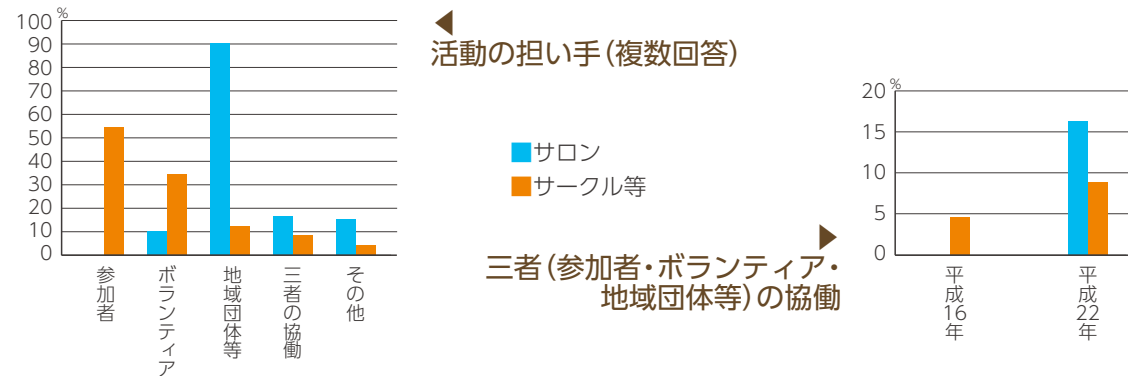
同様の調査をした平成16年度と比較して、立ち上げや継続的な運営に必要な「担い手の確保」と、参加者の募集には欠かせない「広報・周知」が高くなっています。

サロンとサークル等を比較すると、サロンの方は「活動内容の充実」がやや高くなっています。サークルは「担い手の確保」が高く、参加者(当事者)同士で担うことができる運営の工夫が求めていることがうかがえます。また、サロンに比べて「財源の確保」に困っている状況がうかがえます。



活動の担い手

サロンは地域団体、サークルは参加者(当事者)が中心。協働型も増えています。



サロンの担い手は89.2%が「地域団体等」です。サークル等では「参加者」が54.2%、次いで「ボランティア」が33.9%で、「地域団体等」は11.9%となっています。

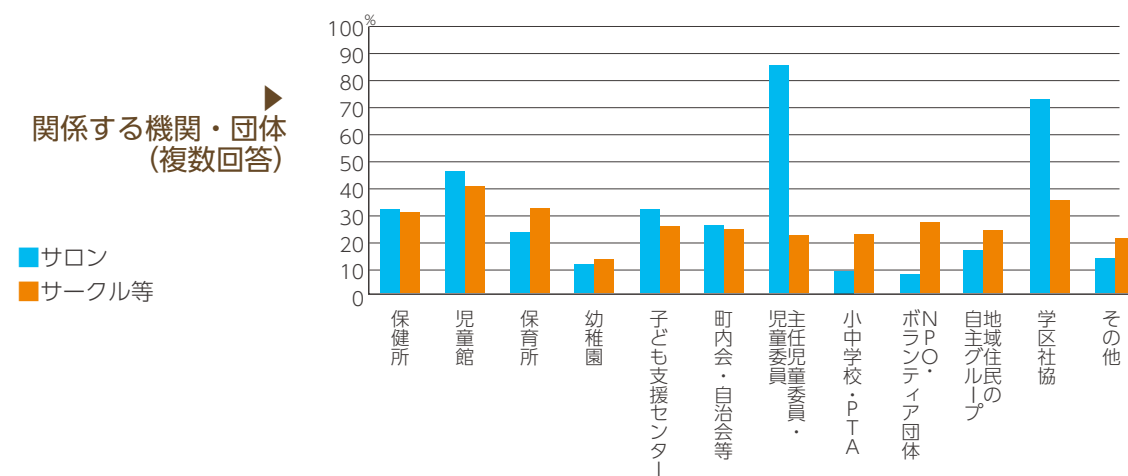
また、平成16年度と比べて「参加者」「ボランティア」「地域団体等」の「三者の協働」の割合が高くなっているのが特徴です。

関わっている機関・団体

さまざまな関係機関・団体との協力で運営されています。

サロン・サークル等の関係する機関・団体

- 1位「主任児童委員・児童委員」(59.9%)
- 2位「学区社協」(57.7%)
- 3位「児童館」(43.7%)



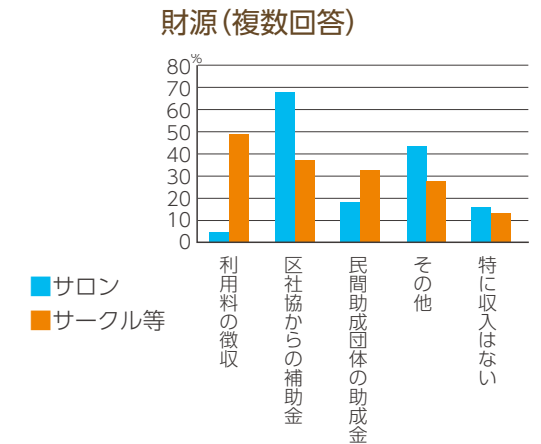
「主任児童委員・児童委員」が最も多く、次いで「学区社協」「児童館」となっています。

サロンとサークル等を比較すると、サロンは「主任児童委員・児童委員」と「学区社協」がとても高くなっています。一方、サークル等は「NPO・ボランティア団体」と「小中学校・PTA」が高くなっています。

財源

「社協からの助成」と「利用料」が大きな財源となっています。

サロンとサークル等では、大きく違いが出ており、サロンは「区社協からの補助金」が67.5%、「その他」が43.4%となっています。「その他」の内容は地縁団体からの補助金が多く占めています。それに対して、サークル等では、「利用料の徴収」が49.1%と全体の約5割を占めており、参加者によって運営費が捻出されています。



活動場所

児童館、小中学校を活動拠点とする割合が増えています。

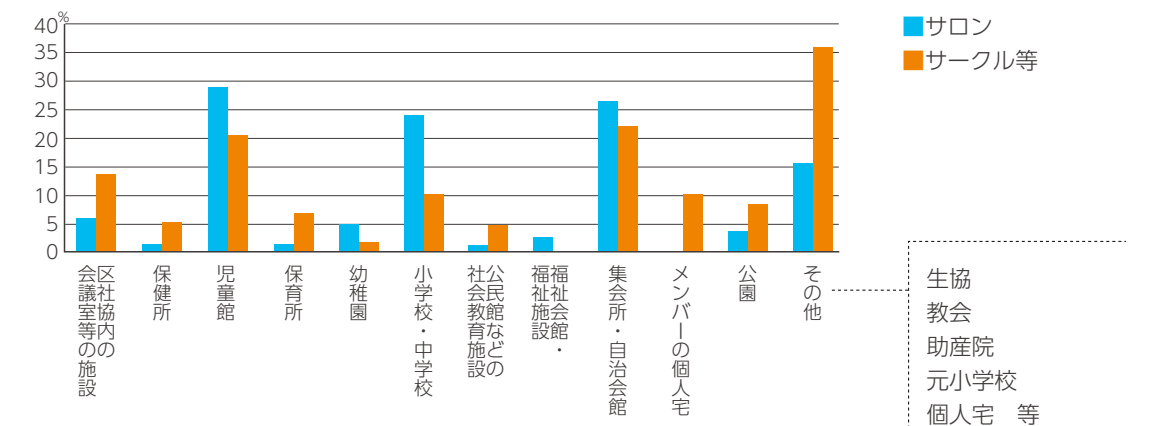
サロン・サークル等の活動場所

- 1位「児童館」(25.4%)
- 2位「集会所・自治会館」(24.6%)
- 3位「小中学校」(18.3%)

参考(平成16年度調査)

- 1位「集会所・自治会館」(24.6%)
- 2位「児童館」(16.9%)
- 3位「小中学校」(9.7%)

活動場所(複数回答)



平成16年度調査と比べると、児童館と小中学校を活用する割合が増えています。

サロンとサークル等を比較すると、サロンは公共的な場所の使用が高く、サークル等は、「その他」が一番高くなっており、活動場所が多様であることがうかがえます。



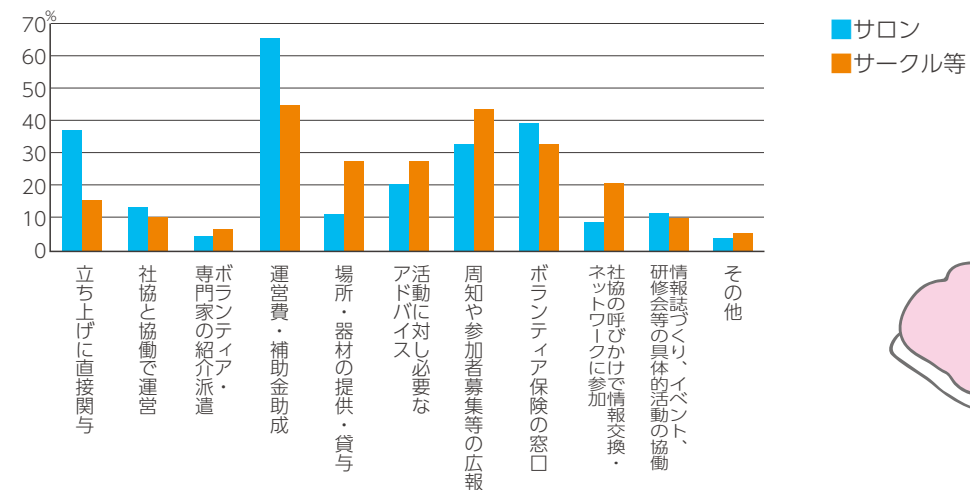
市社協・区社協のかかわり

運営費の補助や広報周知、活動に対するサポートをしています。

サロン・サークル等に対する市社協・区社協のかかわり

- 1位「運営費・補助金助成」(55.6%)
- 2位「周知や参加募集等の広報」(36.6%)
- 3位「ボランティア保険の窓口」(35.9%)

市社協・区社協のかかわり機関・団体(複数回答)



「運営費・補助金助成」「広報活動」「ボランティア保険」のサポートが中心となっています。

サロンとサークルを比較して、サロンは「立ち上げに直接関与」と「運営費・補助金助成」が高くなっています。一方で、サークル等は「場所・器材の提供・貸与」「社協の呼びかけで情報交換・ネットワークに参加」が高くなっています。

調査の概要

●実施主体

社会福祉法人 京都市社会福祉協議会 各区社会福祉協議会

●調査の対象

市内の子育てに関するサロン活動(親子が集える居場所)やサークル活動(親子等自身が自主的に結成し、集っている)を実施しているグループ・団体・ネットワーク組織

●対象数

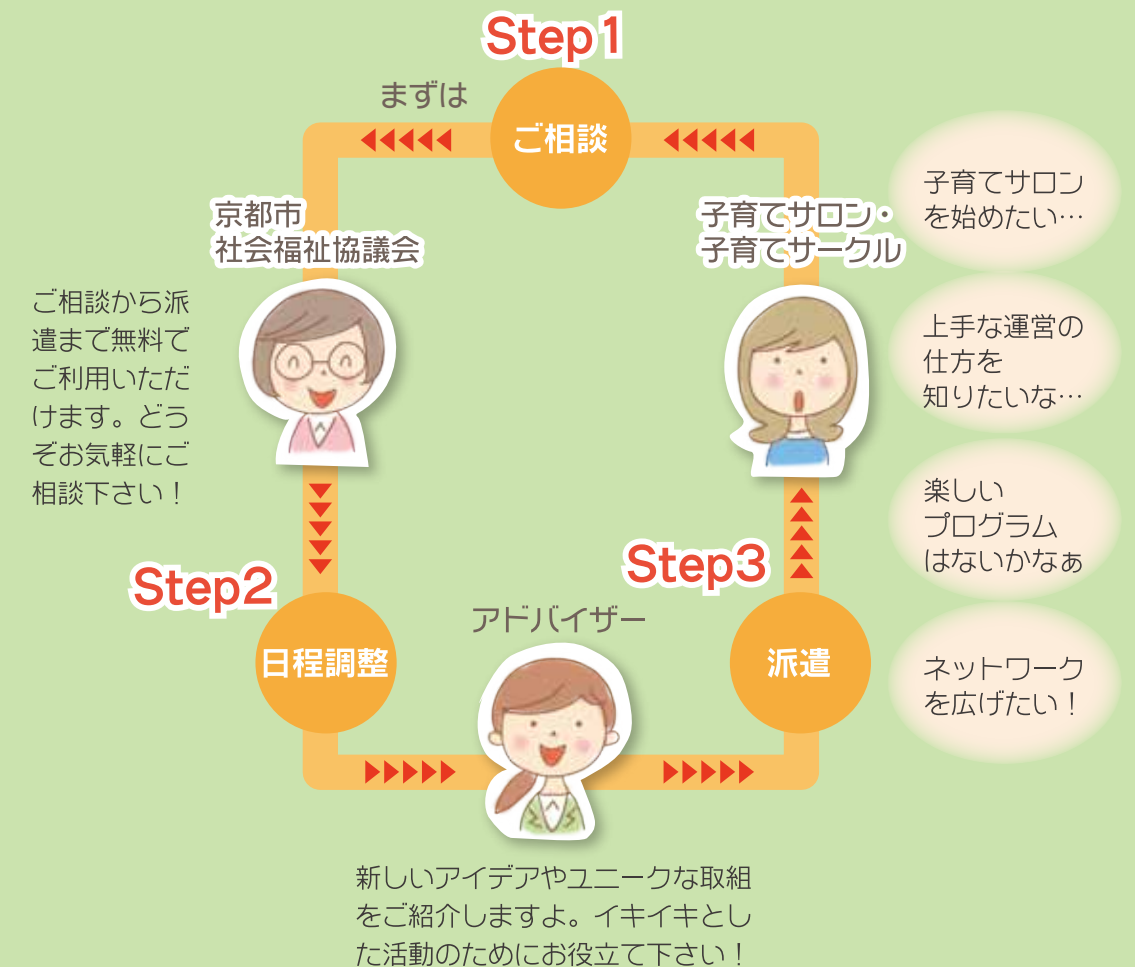
市・区社協が把握しているサロン・サークル等 198団体(平成22年度)

そのうち133団体から回収(65%)

●調査時期

平成22年11月

子育てサロン等運営アドバイザー派遣事業の流れ



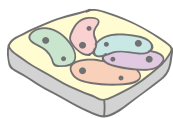
運営やプログラムのことでご相談は

京都市社会福祉協議会児童館事業部まで

【子育てサロン等運営アドバイザー派遣事業担当】

☎ 075-354-8725

<http://www.syakyo-kyoto.net/>



地域の絆づくり

「子育てサロン・サークル活動事例集」 —新しいアイデアとユニークな取組—

平成 25 年 4 月発行

発行 社会福祉法人 京都市社会福祉協議会

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1

ひと・まち交流館 京都

TEL：075(354)8725(児童館事業部)

FAX：075(354)8726

ホームページ

[京都市社協](#) [検索](#)